

Q19 上記のうち最も重視している事柄は何ですか（回答はひとつ）

- | | |
|--------------------|------|
| 1. 仕事上の成功 | 5.1 |
| 2. 経済的な豊かさを得ること | 22.4 |
| 3. 趣味や個人的な活動の充実 | 28.8 |
| 4. 地域・社会に貢献すること | 1.5 |
| 5. 家庭生活・家族の絆を深めること | 42.2 |

あなたは、次の考え方についてどのように思いますか（回答はそれぞれひとつずつ）

Q20 子どもの数について

	1 全くそ う思わ ない	2 あまり そう思 わない	3 まあそ う思う	4 非常に そう思 う
(1) ひとりっ子はかわいそうだ	11.0	25.0	48.3	15.7
(2) 子どもがひとりだと、十分な教育を受けさせられる	10.2	43.1	40.2	6.5
(3) きょうだいがいる方が助け合える	3.1	8.3	54.9	33.7
(4) ひとりっ子はわがままで	9.0	34.7	41.7	14.6
(5) 問題をおこす子にひとりっ子が多い	23.6	56.5	14.7	5.2
(6) きょうだいが多い方が楽しい	3.7	11.4	55.8	29.1
(7) ひとりっ子だと親の目が行き届く	9.7	44.3	41.5	4.5
(8) 子どもは男女ともいた方がバランスがいい	7.3	30.2	49.9	12.5
(9) 同性の子どもが 2 人いたら、もうひとり異性の子どもがほしい	9.2	29.4	46.6	14.8

Q21 家族や子育てについて

	1 全くそ う思わ ない	2 あまり そう思 わない	3 まあそ う思う	4 非常に そう思 う
(10) 結婚したら子どもをもつべきだ	14.8	35.9	40.5	8.8
(11) 育児の大変なことも知ってはじめて、子どもに対する愛情が深くなる	6.1	19.4	57.2	17.3
(12) 子育てを経験することで、自分が成長する	4.3	10.4	56.5	28.8
(13) 子育ては失敗が許されない	7.9	46.0	36.0	10.0
(14) 子どもが望むことを何でもさせてあげるのが親としてのつとめだ	27.0	52.9	17.8	2.2
(15) 子どもは自分の分身だ	23.5	43.7	28.0	4.8
(16) 子どもは生きがいである	11.4	32.8	44.1	11.7
(17) 子どもが小さいときには誰かが家において面倒を見るのがよい	4.2	16.2	57.9	21.7

Q22 性役割観について

	1 全くそ う思わ ない	2 あまり そう思 わない	3 まあそ う思う	4 非常に そう思 う
(1) 女性の一番重要な仕事は、家族を守り子どもを育てることである	15.6	46.5	33.7	4.2
(2) 父親は外で働き母親が育児の責任を持つのが自然だ	18.1	47.5	31.3	3.1
(3) 職業の有無に関わらず、家事や育児は女性の役割・責任である	23.6	54.0	20.6	1.8
(4) 子どもが3歳くらいになるまでは母親は育児に専念すべきである	11.6	34.1	43.6	10.7
(5) 父親が仕事のために育児や子どものことに手がまわらないのはやむを得ない	18.8	50.2	28.5	2.5
(6) 母性愛は女性の持つ本能だ	8.2	23.5	54.3	14.0
(7) 父親の出番は子どもがある程度大きくなってからだ	29.0	57.5	12.3	1.2
(8) 子どもの世話や教育は、父親は母親にはかなわない	16.6	44.3	32.2	6.9
(9) 家事や育児を妻任せにする男性は、人生の大切なものを失っている	6.5	30.4	47.6	15.5
(10) 男性も、育児休業をとるなど育児を配慮した働き方を考えるべきだ	3.6	22.1	56.0	18.3
(11) 妻が仕事を持っている場合には、夫も家事を平等に分担するべきだ	2.4	12.4	56.3	28.8
(12) 父親にとっても、仕事と育児は同等の重みを持つ	2.6	18.4	57.2	21.9
(13) 父親だけでも子どもを立派に育てることができる	5.4	30.3	51.7	12.6
(14) 母親が仕事をしていても、愛情豊かでしっかりした親子関係を築くことができる	2.2	13.5	64.7	19.6
(15) 子育ては夫婦2人が同じくらい関わるべきである	1.5	13.0	56.4	29.1
(16) 父親も積極的に育児に参加するべきだ	1.4	6.8	54.9	36.9

Q23A あなたは、子どもを持つことで生じる以下のような負担についてどう思いますか（回答はそれぞれひとつずつ）

	1 全く そう 思わ ない	2 あま りそ う思 わな い	3 まあ そう 思う	4 非常 にそ う思 う
(1) 子どもがいると家計が圧迫される	3.4	22.9	61.0	12.6
(2) 子どもがいると好きなことをする自由がなくなる	2.5	20.0	63.0	14.5
(3) 子どもがいると世話が大変	3.0	20.5	63.2	13.4
(4) 子どもがいるとストレスや心配事が増える	3.5	24.9	59.4	12.2
(5) 子どもがいると教育費がかかる	1.4	10.0	65.5	23.1
(6) 子どもがいると仕事に専念できない	6.6	46.9	38.8	7.6
(7) 子どもがいると自分の時間がなくなる	2.7	24.6	58.8	13.9

Q23B またあなたの配偶者は、子どもを持つことで生じる以下のような負担についてどう思っていると思いますか（回答はそれぞれひとつずつ）

	1 全くそう思っていない	2 あまりそう思っていない	3 まあそう思っていない	4 非常にそう思っている
(8) 子どもがいると家計が圧迫される	4.4	32.3	46.9	16.3
(9) 子どもがいると好きなことをする自由がなくなる	5.5	35.8	43.8	15.0
(10) 子どもがいると世話が大変	5.2	30.6	48.4	15.7
(11) 子どもがいるとストレスや心配事が増える	5.5	34.1	46.1	14.4
(12) 子どもがいると教育費がかかる	3.2	21.2	53.3	22.4
(13) 子どもがいると仕事に専念できない	15.0	44.9	32.2	8.0
(14) 子どもがいると自分の時間がなくなる	7.2	36.4	41.9	14.5

Q24 あなたが子どもを持つと思うとき、以下のきっかけや条件にどれくらい影響を受けるとお考えですか（回答はそれぞれひとつずつ）

	1 全く影響がない	2 あまり影響がない	3 やや影響がある	4 非常に影響がある
(1) 友達が子どもをもちはじめた	24.6	37.0	33.6	4.7
(2) 自分の生活に区切りがついた	17.0	34.1	42.8	6.2
(3) 夫婦 2 人だけの生活を十分楽しんだ	18.2	36.5	37.7	7.5
(4) 自分の仕事が軌道にのった	21.7	41.4	30.9	6.0
(5) 周囲に勧められた	39.8	45.9	13.0	1.3
(6) 育児に自信が持てるようになった	24.0	41.8	29.8	4.4
(7) すでにいる子どもの手が離れた	33.5	40.7	23.2	2.7
(8) よい保育園がある	37.8	43.6	16.1	2.5
(9) 親が楽しみにしている	26.1	36.6	32.5	4.8
(10) 子育てを手伝ってくれる人がいる	22.2	35.4	35.3	7.1
(11) 経済的なゆとり	13.9	21.4	42.7	21.9
(12) 子どもができる時の年齢	11.8	17.8	48.3	22.1

Q25 あなたは、育児休業制度に関する以下のような考え方についてどのように思いますか。(回答はそれぞれひとつずつ)

	1 まったくそう 思わない	2 あまりそう 思わない	3 ややそう 思う	4 大変そう 思う
(1) 育児休業制度を利用すると職場の人に迷惑がかかる	7.0	28.2	53.4	11.3
(2) 育児休業制度を利用すると職場での居場所がなくなる	6.6	34.6	46.6	12.2
(3) ある程度の給料の補償がないので、育児休業制度を利用しづらい	4.4	24.0	52.4	19.1
(4) 育児休業制度を利用すると、仕事のブランクのため能力が落ちる	5.3	31.8	52.0	10.8
(5) 育児休業制度を利用すると収入が減って家計が苦しくなる	3.3	22.8	57.1	16.9
(6) 仕事への責任があるので、育児休業制度を利用したくない	10.5	47.0	34.4	8.1
(7) 周囲の人が取らないので、育児休業制度を利用しにくい	9.1	27.2	46.0	17.7
(8) 育児休業制度を利用すると、昇進に不利になる	8.9	38.3	39.9	12.9
(9) 現在の仕事が忙しくて、育児休業制度を利用することは不可能である	11.7	37.7	36.3	14.4
(10) 妻が育児をするため、夫が育児休業制度をとる必要はない	20.2	50.8	24.6	4.5
(11) 職場では育児休業制度をとりにくい雰囲気がある	9.1	29.1	40.1	21.7

Q26 あなたは育児休業制度(育児休業、勤務時間の短縮等を含む)を利用したいと思いますか(回答はひとつ)

- | | |
|--------------------|------|
| 1. はい | 65.8 |
| 2. いいえ(→Q26_SQ1 へ) | 34.2 |

Q26_SQ1 なぜあなたは育児休業制度(育児休業、勤務時間の短縮等を含む)を利用したいと思わないのですか。最もあてはまる番号を一つお答えください(回答はひとつ)

(n=1343)

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1. 子どもを持つつもりがないから | 27.3 |
| 2. 子育てに興味がないから | 0.7 |
| 3. 配偶者が子育てに専念するだろうから | 7.7 |
| 4. 子どもの保育についての手配ができるだろうから | 2.1 |
| 5. 休むと復帰後仕事についていけるか不安だから | 4.8 |
| 6. 仕事が面白いだろうから | 1.1 |
| 7. 同僚に迷惑をかけたくないから | 6.9 |
| 8. 復帰後の処遇に不安があるから | 5.5 |
| 9. 休業すると経済的に苦しいだろうから | 11.6 |
| 10. 職場に育児休業を取得しづらい雰囲気があるだろうから | 8.3 |
| 11. その他 | 23.9 |

Q27 育児休業制度の取得が法律等で義務化されることについて賛成ですか(回答はひとつ)

- | | |
|--------|------|
| 1. はい | 84.0 |
| 2. いいえ | 16.0 |

Q28 育児休業制度を取得したことがありますか(回答はひとつ)

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 取得したことがある | 2.1 |
| 2. 子どもがいるが取得したことはない | 33.0 |
| 3. 子どもがいない | 64.9 |

Q29 あなたは、有給休暇を取得することができますか(回答はひとつ)

- | | |
|----------------|------|
| 1. 十分に取得している | 22.5 |
| 2. あまり取得できていない | 29.2 |
| 3. 全く取得できていない | 10.9 |

4. 有給休暇制度がない 15.9
 5. 働いていない 21.4

Q30 あなたは、家事や3歳までのお子さんの育児をどの程度行っていますか。
 (育児を終えた方は、過去の経験で結構です。お子さんがいない場合は、家事についてのみお答え下さい) (回答はそれぞれひとつずつ)

		1 ほとんど自分ではない (0%-20%未満)	2 少しは自分です (20%-40%未満)	3 半分程度は自分です (40%-60%未満)	4 大体自分です (60%-80%未満)	5 すべて自分です (80%-100%)
家事 n= 3922	(1) 部屋の掃除	12.2	20.3	12.6	18.8	36.1
	(2) 洗濯(物干し・取入れ含む)	20.4	18.3	12.3	13.1	35.9
	(3) 炊事(食器洗い含む)	17.8	21.1	14.6	15.1	31.4
育児 n= 1364	(4) 風呂に入れる	7.3	15.8	28.0	27.9	21.0
	(5) 食事をさせる	7.1	21.4	22.2	20.9	28.4
	(6) 寝かしつける	12.2	17.4	19.5	21.6	29.3

Q31 あなたは1週間で、家事や育児を何時間くらい行っていますか。
平均 17.5時間くらい

Q32 あなたは次の事柄について不安を感じていますか(回答はそれぞれひとつずつ)

	1 まったく感じない	2 あまり感じない	3 やや感じる	4 大変感じる
(1) 現在の収入	4.0	20.3	42.8	32.9
(2) 今後の仕事(雇用)の確保	5.3	22.7	41.9	30.1
(3) 老後の収入(年金など)	2.3	10.7	38.4	48.6
(4) 現在の健康	5.5	30.9	44.6	19.0
(5) 結婚生活	21.3	41.7	26.2	10.7
(6) 自分の子どもができないこと	43.5	28.6	17.9	9.9

Q33 あなたは、ご自身やご家族の将来についての具体的な生活設計(家族計画や、経済的な準備など)を立てていますか(回答はひとつ)

└1. はい → (Q33_SQ1へ) 33.9

└2. いいえ → (Q33_SQ2へ) 66.1

↓

| Q33_SQ1 それはだいたい何年ぐらい先のことまでですか。(n=1329)

| | _____14.8年ぐらい先のことまで

↓

Q33_SQ2 あなたが具体的な生活設計を立てていない理由は何ですか。この中で最も近いと思うものを1つ選んでお答え下さい(回答はひとつ)(n=2593)

1. 収入や支出などの将来の見通しを立てるために必要な情報がないから 10.2

- 2. 将来に備えるための経済的な余裕がないから 38.6
- 3. 生活設計を立てなくても、なんとか暮らしていけるから 9.9
- 4. 将来よりも現在の生活を充実させることの方が大切だから 16.2
- 5. きっかけがなかったから 18.4
- 6. その他 6.7

Q34 あなたは自分の生活や仕事について満足していますか(回答はそれぞれひとつずつ)

	1 非常に 不満	2 やや 不満	3 やや 満足	4 非常に 満足
(1) 現在の生活全般に対する満足度	11.3	36.4	45.5	6.8
(2) 現在の仕事に対する満足度	18.1	42.2	35.2	4.5

【配偶者のいる方のみお答え下さい】

Q35 あなたは配偶者と以下のことについてどれぐらい話し合いをしますか(回答はそれぞれひとつずつ) n=1321

	1 ほとんどしない	2 あまりしない	3 たまにする	4 よくする
(1) 家計の分配や管理、運営	15.0	26.1	44.2	14.7
(2) 子どもを持つことについて	22.2	23.1	38.4	16.3
(3) 親や親族との付き合いについて	11.1	27.7	48.4	12.9
(4) 育児や子どもの教育について	26.3	18.4	38.0	17.3

Q36 あなたの配偶者は、何人の子どもを持ちたいと思っていますか(回答はひとつ)(n=2601)

- | | |
|----------|------|
| 1. 1人 | 11.5 |
| 2. 2人 | 41.5 |
| 3. 3人 | 15.4 |
| 4. 4人 | 0.7 |
| 5. 5人以上 | 0.5 |
| 6. わからない | 30.3 |

【全員にお伺いします】

Q37 あなたが子どもに期待する最終学歴を教えてください。もっとも近いものを一つお答え下さい（回答はひとつ）

1. 中学校	0.1
2. 高校	8.2
3. 大学	44.5
4. 大学院	4.2
5. その他の学校	1.1
6. 状況による	32.4
7. 子どもは知らない	9.6

Q38 あなたのお母さまの就業経歴について、教えてください（回答はひとつ）

1. 結婚前からずっと勤めを続けてきた	22.5
2. 子どもが大きくなってから再就職した	21.9
3. ずっと自営の仕事(農業を含む)や内職を続けてきた	15.3
4. ずっと家事・育児をしてきた	23.6
5. その他	8.5
6. わからない	8.3

Q39 あなたが成人するまでのお父さまの家事・育児の状況について、教えてください（回答はひとつ）

1. 全く行っていなかった	20.5
2. ほとんど行っていなかった	33.8
3. 少しは行っていた	28.8
4. かなり行っていた	7.2
5. わからない	9.7

Q40 あなたは、中学校を卒業してから今までに、未就学児(0～6歳)と、話したり、遊んだり、面倒をみたりといった経験がありますか（回答はひとつ）

1. 頻繁にある(あった)	20.6
2. たまにある(あった)	40.5
3. ほとんどない	24.9
4. まったくない	14.0



- Q41 あなたは上記の「次世代認定マーク」を知っていますか（回答はひとつ）
1. 知っている 2.9
 2. 知らない 97.1

◆参考1【企業に対する次世代育成支援の認定と「次世代認定マーク」について】

「次世代育成支援対策推進法」によって、従業員 301 人以上の企業では、2005 年 4 月から次世代育成支援のための「行動計画」を作り各都道府県労働局に届け出ることになりました。「行動計画」の具体的な内容は、子育てをしている労働者に対する雇用環境の整備や、働き方の見直し、自社の労働者以外に対する子育て支援などです。この「行動計画」に定めた目標を達成したことなど一定の要件を満たす場合には、申請により厚生労働大臣の「認定」を受けることができます。



この認定を受けた企業は、その旨を示す表示（「次世代認定マーク」）を広告、商品、求人広告などにつけることができます。

◆参考2【ISO14000s 認定について】

国際標準化機構（ISO）が定める ISO14000S シリーズという環境マネジメントシステム規格があります。これは、企業などの組織が自主的に環境負荷の低い活動に向けた取組むシステムをもち実施していると認定されます。

具体的には自ら、環境方針や環境目的・目標を決定し、それに沿った行動を行い、チェックして確認をします。さらに行動上問題点があった場合、それを見直します。こうした一連の流れを環境マネジメントシステムと呼んでいます。

Q42 企業に対する次世代育成支援の認定企業、「次世代認定マーク」、ISO14000s の認定企業などについてお答え下さい(回答はそれぞれひとつずつ)

	1 まったくそう 思わない	2 あまりそう 思わない	3 ややそう 思う	4 大変そう 思う
a. 「次世代認定マーク」の付いている商品 を積極的に購入したい	9.3	44.8	43.3	2.5
b. 次世代育成支援の認定を受けている企 業で働きたい	9.7	37.2	41.4	11.7
c. 次世代育成支援の認定を受けている企 業のイメージは良い	6.3	23.9	54.5	15.4
d. ISO14000s (環境へ配慮する活動への 規格) の認定を受けている企業の企 業イメージは良い	6.2	23.7	56.0	14.1

Q43 あなたは、少子化に関する次の考え方についてどのように思いますか（回答はそれぞれひとつずつ）

	1 まったくそう思わない	2 あまりそう思わない	3 ややそう思う	4 大変そう思う
a. 子どもがもっと多く生まれるための対策に、政府はもっと予算を配分するべきである	4.3	17.5	40.2	38.0
b. 子どもが少ないことを前提とした社会に対応するための対策に、政府は予算を配分するべきである	4.0	16.5	48.7	30.8
c. 子どもがもっと多く生まれるための対策のためならば、自分が納める税金や社会保障費が高くなってもかまわない	24.6	45.0	25.3	5.1
d. 子どもがもっと多く生まれるための対策のためならば、公的年金の額がへってもかまわない（自分の年金も含む）	28.8	49.1	18.6	3.5
e. 少子化に対して、自分個人でもできることは貢献したい	7.4	27.4	54.4	10.8

平成 17 年度厚生労働科学研究費（政策科学推進研究事業）

「男性の子どもの価値観と出産・育児に関する研究」総括研究報告書

平成 18 年 3 月

発行者：「男性の子どもの価値観と出産・育児に関する研究」
（主任研究者：辻明子）